

サニナビ 北九州



北九州市保健所
東部生活衛生課
広域食品指導係
小倉北区西港町 94-9
TEL 093-583-2048
FAX 093-583-2044

6月20日に食中毒注意報を発令!



6月20日に北九州市で食中毒注意報が発令されました。今年の6月は気温が高く、昨年より9日ほど早い発令となりました。食中毒の発生は細菌由来のものが多く、30℃~40℃で最も増殖しやすい。そのため、1年の中でも高温多湿になる夏場に発生が増加します。

食中毒は、飲食店や給食施設だけでなく、家庭の食事でも発生しています。食中毒予防の三原則（食中毒菌をつけない、増やさない、やっつける）を守り、発生の無いよう引き続き注意していきましょう。

【発令基準】

6月1日以降、北九州観測局（小倉北区井堀）で観測された午前10時の気象データにおいて、気温25℃以上、湿度70%以上の日が2日間連続したとき

【観測値】

令和4年6月17日
気温 27.0℃ 湿度 71.3%

令和4年6月18日

気温 27.2℃ 湿度 72.4%

【発令期間】
令和4年6月20日~9月末日

今年の夏は、平年よりも気温が高く推移し、暑い日々が続いています。食品や施設内の衛生管理も大切ですが、職員の体調管理にも十分気を配りながら作業されるようお願いいたします。



異物混入防止対策 まずは自分から!

食品製造現場において、異物混入は、喫食者の健康を脅かす危険性があり、絶対にあってはいけません。そのためにまずは、作業者一人一人が意識して、事故を未然に防げるよう行動していかねければなりません。異物の原因となるものは色々とありますが、まずは自分が原因とならないよう、身の回りから見直していきましょう。

右図にユニホーム着用時の注意点をまとめています。あくまで一例であり、これ以外にも異物混入の恐れがあることは避けましょう。また、調理場への入室時点では大丈夫であっても、作業による動きや休憩後など、ユニホームが乱れていることがあります。定期的に時間を決めて、自分で確認したり、他人からチェックしてもらうことも必要です。他にも、作業する人員の変更や新たに人が加わる際には、一度決まり事を指導するようにしましょう。作業者全員がルールを理解し、習慣付けることによって、異物混入を未然に防ぐことができ、組織としての信用も高まります。

- 長い髪は束ねる
- 帽子は内帽子と外帽子の二重
- フード付きはきちんと入れる
- ファスナーやマジックテープをしっかりとめる
- 白衣を着る前に髪の毛をブラッシング
- 白衣から毛髪が出ていないか、入室前に確認
- 髭は剃る
- 隙間をつくらない
- ユニホームのほつれ・破れはないか

ユニホームは異物混入防止だけでなく、体にいる微生物の汚染も多少防いでくれます。古くなってきたり、汚れてきたら新調するようにしてください。また、仕事をスタートする気持ちの切り替えにも効果的です。正しく着用しましょう。

- 調理中の腕まくりは控える
- 袖が濡れる作業では清潔な腕カバーを使用する
- 爪は短くし、マニキュア等はつけない
- 指輪や腕時計等の装飾品は外す
- 白衣の袖口や裾口のゴムが緩くなっていないか
- 内側に体毛の落下防止ネットがついている白衣が望ましい
- 手袋は清潔で、破れがないか
- 靴や長靴は汚れていないか

編集後記

夏本番を迎え、例年に無いほど暑い日々が続いています。熱中症には十分注意し、こまめに水分補給をしましょう。今月の写真は「鹿」です。